

群馬県で高級魚

山田製作所 陸上養殖 実用化

【前橋】山田製作所（群馬県伊勢崎市、佐藤賢社長）は、完全閉鎖循環式陸上養殖システムを実用化した。クエとタマカイの交雑種であるクエタマなどの高級魚を安定生産できる。人工海水を濾過してリサイクルするため、環境負荷を抑えられる。2024年度に量産プラントを稼働させる計画。海なし県である群馬県で高級魚ブランドを創出し、加工品事業展開を目指す。社内ベンチャーの



「プロジェクト」で開発した。飼育水槽の水は物理濾過装置でろろこやふんなどを取り除いた後、独自の生物濾過装置でアンモニアを窒素に変換する。実証では蒸発した水を補給するだけで2年

1槽当たりクエタマ100匹超を養殖できる
▲間、水を替えずに循環している。山田製作所が手がける自動車の冷却水システムで培った熱制御技術で水槽の温度を管理したり、量産設備の設計・製造エンジニアリングを生かした。
魚種はクエタマのほか、シマアジ、ヒラメの3種を実証した。水槽は直径3000mm×高さ1400mm、水量10t。クエタマの場合、1槽当たり100匹超を生産できる。

生産ノウハウは群馬県水産試験場で防疫手法を学んだほか、魚種ごとに水温や塩分濃度、餌などのデータを蓄積して確立。食環境衛生研究所（前橋市）でサルモネラや腸炎ビブリオなどの菌を検査し、魚に問題がないことも確認した。現在5槽で実証しているが、5倍の規模の量産プラントや水槽の大型化などを検討する。環境エコラベルも取得し、安心・安全な高級魚ブランドとして展開する方針。